

台風 12 号、平成史上最大の台風被害をもたらす

～漁業・養殖業にも被害が多数発生～

去る 9 月 3 日 10 時前に高知県に上陸し、四国を北上して岡山県に再上陸した台風 12 号は、西日本から北日本にかけての広範囲にわたって大雨を降らせました。この台風 12 号は動きが遅く、上陸後も大型の勢力を保っていたため、台風周辺の湿った空気が長時間にわたって流れ込み、雨雲が次々と押し寄せた紀伊半島の三重、和歌山、奈良の 3 県では記録的な大雨となりました。8 月 30 日 17 時からの総降水量は各地で 1000mm を超える値が記録され、奈良県上北山村では 72 時間の雨量が 1652.5mm とこれまでの国内の観測記録を大幅に上回り、9 月 6 日までの総降水量は 1808.5mm に達しました。奈良県上北山村の年間平均降水量は 2713.5mm です。年間降水量の約 2/3 に相当する量がこの台風による数日間以降ったこととなります。さらに四国、中国地方を縦断して北上し熱帯低気圧に変わった後も、日本の東海上を進む台風 13 号の影響と重なり、北海道でも総降水量 400mm を超える大雨となりました。

この豪雨によって、各地で河川が氾濫して溢れた水が集落に流れ込み、土砂崩れが土石流や鉄砲水をもたらして民家を押し流し、幹線道路を寸断して地域が孤立するなど大規模な被害が発生しました。この台風による人的被害は、死者 62 名、行方不明者 43 名（9 月 12 日 18 時、消防庁）にのぼり、平成になってから最悪の台風被害となっています。

漁業・養殖業の現場も多数の被害を受けており、三重県では南伊勢町から尾鷲市にかけての各地で大量の雨水が海に流れ込み、たいを中心に、しまあじ、まぐろ、はまち、すずき養殖で多数の死亡魚が発生しています。和歌山県串本町ではまぐろ養殖、徳島県美波町では網いけすが損壊してはまち養殖で被害が発生しています。広島県でもかき養殖に多数の被害が発生し、京都府では大型定置網施設が損壊する被害を受けました。

この台風により被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、いつどのように襲ってくるか予測のできない自然災害に備える「ぎょさい」をなお一層活用頂けますよう、普及拡大に向けて全力で取り組んでまいります。地方公共団体をはじめ、関係各位におかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

台風 12 号による被害概況（漁済連調べ）

県	被害を受けた種類
三重県	はまち養殖、たい養殖、まぐろ養殖、しまあじ養殖、すずき養殖
京都府	大型定置網施設
和歌山県	まぐろ養殖
広島県	かき養殖
徳島県	はまち養殖